

## 2014年度 事業報告

( 2014年4月1日～2015年3月31日 )

### <はじめに>

5月末につかショップは開所15周年を迎えます。寄付によるリユース・リサイクルによって無駄を無くし、支援によって国内だけを見るのではなく、主にアジアの女性や子どもたちが置かれている過酷な状況を知り、理解することで交流が生まれました。加えてこの活動がボランティアな気持ちの結集で続いてきたことを思う時、関わって下さった全ての方々に感謝の気持ちでいっぱいになります。

そのお祝いを4月に12周年を迎え一緒に喜び合うはずの東戸塚ショップが、昨年12月に閉店しました。このことは戸塚の中での活動の縮小であり、大変申し訳ない結果となりました。閉店を最後まで関わり見届けて下さった皆様には改めてお礼を申し上げます。有難うございました。

21世紀こそ争いの無い世界へ変わると期待したことは全く逆に、年々過激で悲惨な事件が多発し、またどんなに生活レベルが向上しても自然災害の恐ろしさによって日常は一瞬のうちに破壊されてしまいます。社会的に多様な不安のある中、小さな動きながら環境や教育、人権、平和などの問題解決につなげられる「WEショップ」の活動を多くの方々と共有することが大切だと思います。また今年度認定NPO法人を取得することが出来ました。その過程でNPO法人としてあるべき状態を改めて意識し直せたことを成果として、これからもより良く活動を進めていきたいと思えます。

### 1. 資源のリユース・リサイクルを推進する事業

#### WEショップとつか

4月より消費税が8%になり社会全体の買い控えの影響がショップにも大きく響き目標額には達することができませんでした。

売上げを上げる為にセールやアジアン、アクセサリー等のフェアを開催、その為に49,700枚のチラシをまきました。特に着物フェアの時は、ショップ前の空き店舗を借りる事ができ、そこでフェアをすることができました。衣類や雑貨などはショップで通常通り営業したため相乗効果で売上が多くありました。また3月には和もの市とし、着物や手作品、和食器など和もの全般のフェアを開催しました。イベント等では大勢のボランティアの協力があり、今年度は新しいボランティアも入りました。これからもっとボランティアを増やしていく必要があります。

#### WEショップ東戸塚

今年は契約更新の年にあたり、継続していくために5月にリニューアルをしました。東戸塚店は道路から奥まっているため、特に雨の日など店内が暗く入りにくいいため店内の商品を少なくし光が反射して奥まで見えるようにしました。6月は割引券付きのチラシをくばり、7月からはスタッフ2名となりブログの開設、手にとって見てもらえるようなセールチラシの工夫などをしました。着物の在庫がたくさんあるため、2回着物フェアをおこないましたが、11月の臨時総会にて年内での閉店を決断しました。10月の終わりから閉店セールが始まり12月13日で閉店しましたが、おおぜいのお客様が閉店を惜しんでくださいました。

販売できなかった衣類については、提携先のナカノ（株）に搬入し再利用され、ファイバーの一部は「エコ手袋」として再生され、ショップで販売しました。ガラスや陶磁器については2ヶ月に1回のキャリー便での回収に出し、飯室商店で再資源化されました。

## 2. アジア等における市民、とりわけ女性の生活の向上と自立のための活動を支援する事業

2011年3月11日に東日本大震災がおきました。4年たった今も被災地の復興は進んでいません。仮設住宅での生活を余儀なくされている人たちも、また放射能の汚染により住んでいたところに戻れない人もいます。海外支援とともに復興支援のための寄付をしました。

### 2014年度支援先一覧

支援国	プロジェクト名	支援金額
ブルキナファソ	ブルキナファソにおける母子改善事業	50,000 円
イラク・シリア・日本	チョコ募金などでイラクの子どもたちの医療品購入と福島の子どもたちを放射能から守る活動	150,000 円
イラク・シリア	イラクでの医療品購入	50,000 円 (とっとの芽からの16,200円が含まれています)
ミャンマー	タイの難民キャンプ図書館事業 絵本を送る運動	16,000 円
カンボジア	カンボジアスパイリエン州コンポンロー郡タナオ・コミュニオンにおけるベトナムへの出稼ぎによる子どもの人身売買及び児童労働防止プロジェクト	70,000 円
日本	福島県檜葉町の小・中学生を神奈川に招いてリフレッシュしてもらうプログラム	50,000 円
日本	福島ぼかぼかプロジェクト 福島に住む親子が県内で線量の低い土湯温泉で短期保養するプログラム	148,794 円

### その他の支援

フィリピン	フィリピンベンゲット州の山岳地帯に住む女性たちが作ったジンジャーティー販売	19,600 円 (28個)
日本	いわき食彩館の物品販売	109,522 円

### 3. 地域市民の国際的な意識の自覚を促進する事業

#### WE 講座

- 第1回 5月23日 「イラクの小児ガン病棟から世界を見る」  
講師：JIM-NET 佐藤真紀さん  
参加者：19名
- 第2回 8月27/28日 「一人ひとりと桃づくり」  
講師：茂村ひとみさん  
参加者：17名
- 第3回 1月30日 「ミャンマー難民キャンプ図書館事業報告と絵本貼り  
ワークショップ」  
講師： シャンテイ国際ボランティア会 鈴木晶子さん  
参加者：16名

### 4. 法人の事業の広報普及をはかる事業

- (1) WE21 ジャパンとつかの支援事業や運動を紹介するため、また会員への情報共有として「ういっと通信」を3回、「ういっとミニレター」を2回発行しました。
- (2) 寄付品募集チラシとセールチラシを発行し、おおぜいのボランティアさんの協力により配ることができました。
- (3) WE21 ジャパンとつかのホームページをリニューアルし、ブログにはショップの情報を掲載しました。
- (4) 生活クラブ戸塚コモンズ大会にて、三つ折りパンフレットを配布しました。

### 5. 目的達成に必要な事業（組織活動）

- (1) 東戸塚ショップ閉店について  
2003年にオープンした東戸塚店は、順調な事業経営を続けてきましたが来客人数の減少により年々経営状況が悪くなり2回の会員集会を経て、臨時総会を開き閉店を決定しました。
- (2) 運営委員会を毎月開き、WE21 ジャパンとつかの総会での方針にそって討議し活動しました。
- (3) 昨年の神奈川県指定NPO法人取得に続き、横浜市認定NPO法人として3月19日に認定されました。認定NPO法人とはより高い公益性を持ち、運営組織や事業活動が適正であることを認められた団体に与えられます。今後、法人税の減免が受けられるほか、当法人へ寄付をいただいた方への各種税金が控除されます。
- (4) 戸塚区社会福祉協議会のボランティア保険に加入登録しました。
- (5) ボランティアミーティング及びボランティア交流会を開きました。
- (6) 会員数

目標人数	期首人数 (4月1日)	新規加入 人数	脱退人数	期末人数 (3月31日)
80人	76人	10人	7人	79人

## 6. 「WE21 ジャパン」との連携

- (1) 経営会議などに出席しました。またいろいろな講座や報告会に出席し、情報の共有をしました。
- (2) イベントチームのメンバーとして、WE 2 1 ジャパンが主催する各イベントに参加しました。

## 7. 他地域 NPO との連携

- (1) エリア連絡会に出席して近隣地域ショップと情報交換をしました。

## 8. ありがとうチケット

ボランティアさんへの感謝の気持ちとして、今年度もありがとうチケットを発行しました。

### 発行及び使用状況

	とつか店			東戸塚店		
	発行枚数	利用枚数	利用率	発行枚数	利用枚数	利用率
2013年度	1652枚	777枚	47%	1640枚	740枚	45.1%
2014年度	1678枚	777枚	46.3%	1074枚	310枚	28.8%

## 9. 他団体との交流連携

戸塚区内で活動する生活クラブ運動グループで構成される「戸塚まちづくりユニット」に出席し、情報交換をしました。また12月にはとつか区民活動センターと区役所が主催する「とつかお結びひろば」に初めて参加しました。パネル展示の他パンフレットを配りアピールをしました。